

市民のくらし優先の市政に

伊那民報

発行：日本共産党
伊那市委員会
伊那市狐島3879
TEL：72-2465
ホームページ
「J C P上伊那」



要求実現にむけ、共産党を大きく

伊那市長・市議選が4月15日公示、22日投票で行われます。「市長は企業にばかり目を向け、住民には冷たい」との声が多数寄せられています。これに応えて市民や野党側から候補擁立の動きが出ています。市議選は21議席をめぐり激しい争いが予想されます。

国保税を上げず 市の会計から補充を

4月から、国民健康保険制度（国保）の運営主体が県に移り、国保税額などが大きく変わります。今の伊那市の国保税額の1人あたりの年平均額は10万2772円で、被保険者の年間所得の1割近くになります。国保税が高い理由は、国が国保への国庫支出金を半減したことが大きく影響しています。昨秋に示された国保税額の試算では、1人あたり11万5687円で、なんと1万2915円の増額です。

一方、県は、市町村に「法定外繰入等による保険料増加抑制の維持を検討すべき」と指示。共産党伊那市議団は、今でも高い国保税は引き上げず、増額分全額を一般会計の法定外繰り入れで補うよう提案しています。

小規模保育園 休廃園基準の廃止を

伊那市の保育園には、「定員の50%、又は30人以下になると休園に」「その後の5年間に大幅な児童の増加がなければ廃園に」との「基準」があります。かつては小学校区に公設公営の保育園が1園以上ありました。ところが白鳥市政になってからは、この「基準」で、伊那西部保



平成24年度より休園中の
伊那西部保育園（伊那市小沢）

育園が休園にされ、住民は怒っています。また小規模保育園のある東部地域などの住民は「基準」をクリアするために、児童の確保など、負担と困難を強いられています。住民からは「休園や廃園になれば子育て世代が減少する」との声が挙がっています。

地方自治法は「住民が公の施設を利用することを拒んではならない。不当な差別的取り扱いをしてはならない」（第244条）と定めています。県内でこんな「基準」のある市は伊那市だけです。

先日、伊那市議会は白鳥市長に「休廃園基準の廃止」を提言しました。共産党伊那市議団もかねてから地域の住民と共に基準の廃止を求め運動を強めています。

地蜂

新年早々から、安倍首相は憲法改正ありきを前提とした発言を声高に宣言して憚りません。「この世の中に存在する

ものには、全て合理性がある」をどこで勉強したのでしょうか？▼隣国北朝鮮のキム・ジョンウン君の核兵器開発やICBM実験にも合理性があるのだろうか？それを許している国民が一番問題です。独裁政権下にはなく、民主政治を標榜している日本でも、安倍政権を国民が数の力で支えている現状をどのように考え、変えたらよいのでしょうか？▼核兵器や原子力発電と人類との共存は、不可能だと考えます。言論の自由や表現の自由が曲がりなりにも保証されている日本では、核兵器や原子力発電になぜ反対なのか、反対意見に今だからこそ、真摯な態度で私たちの一人一人が熟慮して行動する必要がありますのではないかと思います。▼世論調査の結果を見ると、若者の安倍政権の支持率が高いのに驚かされます。若者の逼塞した社会環境が、憲法でも改正すれば、少しは良くなるのではないかとの淡い期待感の表れかもしれません。こんな状況を私の言葉で表現すれば、自分の人生を自分で考える力を奪ってしまった「教育の貧困」こそが元凶だと考えます。（S・T）

安倍暴走政治に立ちはだかる

厳寒の中、「改憲NO！」行動

厳しい冷え込みの中でも、「安倍政治を許さない」「改憲NO！」「戦争はだめ。平和を守ろう」などと市民に呼びかける宣伝や集会、署名集めが取り组まれました。

これに車中や街頭などで、両手を振る人や「寒さに負けず頑張つて」「安倍を早く辞めさせたいね」などの激励と共感が、各所で寄せられました。

三浦 久トーク・ライブ

東春近平和の集い 110人が参加

28日、東春近ふれ愛館で「実行委員会」



愛と平和を歌う三浦久さん

が主催した三浦久トーク・ライブ「平和の集い」に、雪が舞う中、110人が参加し、大盛況でした。

三浦さんは、ギターとハーモニカで「私は風の声をきいた」「祈りの歌」「雨にも負けず」「へいわってすてきだね」など実話を元にした自作の歌を含め、

作詞した背景などを語りながら歌い、参加者を魅了しました。後半では応援に駆けつけたサツクスマンの大田さんの演奏も合流し、「故郷」や「みかんの花咲く丘」を参加者と合唱し集会は大盛り上がりしました。

会場から「素晴らしい集会でしたね」（40代男性）、「最初から最後まで涙でした。平和って大事だね」（80代女性）、「生まれる前の歌がメロディと物語として聴けて心に残りしました」（20代女性）、「平和だからこうした集会できるんですね」（60代男性）、「このような集いを各地で開いてほしい」（50代女性）などの発言があり、38人から感想文が寄せられました。

「改憲NO！」3千人署名は9条の会や医療生協、新婦人、民商、共産党支部などが共同し500人余を集めています。

9条改憲阻止へ 3千万署名急ごう

竜東・東春近9条の会

3日午後はベルシャイン前で、19日朝は竜東橋北交差点で「安倍政治を許さない」「憲法9条を守ろう」などの看板を掲げて宣伝し、3千人署名を集めました。

高遠9条の会

6日新年会を行い、19日朝7時半に三峰川橋南で10人の会員らが「9条を変えないで」「憲法を守る政治を」などの看板を掲げ訴えました。

青年と西箕輪9条の会

毎週水曜日の朝7時半から大萱交差点を中心に「戦争法・共謀罪法廃止」「改憲NO！」などを呼びかけるスタンディングと3千人署名に取組み300人を突破しました。

手良9条の会

3日午後、手良坂信号機付近で「安倍政治を許さない」宣伝行動を行いました。

共産党伊那市委員会

10日朝、平成大橋たもとでの「共謀罪法廃止」「平和を」呼びかけるスタンディングに7人が参加しました。

私たちのための

ロウドウ学校開催

も…やっぱり学習って大事です。職場や職種の違う人たちが労働問題で語り合うのは非常に良い経験になります。次回、2月24日（土）19時から有報堂で開催します。労働者の皆さん奮ってご参加ください。（有坂ちひろ）

「わたしたちのためのロウドウ学校」2時限目を20日夜、伊那市内で開講。仕事などで前回よりは少ない9人が参加。「やっぱり労働の忙しさは学習の妨げになるなあ」と感じました。

今回は、「定期昇給とベースアップの違い」「労働条件の決め方」「どうして1日8時間労働が原則なのか」「36協定って？」などなど初歩の初歩から安倍政権の「働き方改革」についても学ん

市政についてのアンケートに協力を

市の下水道使用料は、県下19市で2番目に高くなっています(平成29年4月1日現在)。市は、使用料を今後も3年ごとに見直して値上げをする方針です。この方針に党市議団は反対しています。

子どもの医療費は、今年8月から県の制度が変わり、窓口負担は1レセプト月500円となります(現在は自己負担を払い500円を除き後から戻る方式)。宮田村・飯島町・中川村では自己負担も取らず完全無料になります。伊那市は「コンビニ受診が増える」と負担は継続します。市内で夜間の小児科があるのは、伊那中央病院だけです。夜間や早朝の受診が増えるとは考えられません。党市議団は、窓口負担ゼロを提案しています。白鳥市長はこの4年間で基金残高110億を200億円に増やしたので財源はあります。

こうしたことや市政全般についてアンケートにご協力をお願いいたします。

共産党伊那市議団



市議の窓 周辺部格差

山付きの住宅地に住む方から、雪が降ると家までたどり着けない。何とかしてほしいと相談があった。

聞けば道幅が狭く急こう配で、地域の雪かきの車がそこまで来て方向転換して帰ってしまう。雪が道に残され、かつ急こう配になっているので、家までたどり着けないという事

前沢 けい子

のようだ。

雪かきに限らず、道路の整備費や保育園の人員確保等、伊那市は周辺部に住むと負担が大きい。この道路も地域の重機を持つている方に除雪を依頼しているとの事だが、これは急こう配で危険なので、これ以上できないと言われて困っているとのことだ。

短歌 (投稿) 中村 正和 (境)

・ 戦なき良き世に生きて

喜寿迎え

・ 平和憲法あればこそなり

・ 軍事費を最大に増やし
福祉減
庶民を泣かす

悪の権化安倍

・ 北の脅威

・ アラート鳴らし煽りたり
軍事費増やすが
奴らの目的

「和」と「正」の文字名に

持つ我友数多(あまた)
共に歩んだ戦後と九条

税金を払っているのに、法の下の平等は伊那市では通用しないのか」とその方は訴えられた。担当課に現場を見に来るように依頼しているが...



上伊那の米価闘争

境 有賀 光良

9

労農市民決起集会に2250人

一九六七年は一月の総選挙で、林百郎氏が六三年に続いて連続当選し、共産党が五議席を維持した年でした。この年の六月二四日、食管制度を守る県民会議、県消費者団体連絡会議、県農民団体会議共催の「消費者米価値上げ反対、生産者米価引き上げ、食管制度を守る長野県労農市民決起集会」が長野市で開かれ、全県から2250人が参加しました。上伊那では、この年も五千人規模の米価の集会を開かれました。

東京での座り込みにも上伊那も参加

六七年の生産者米価を審議している東京の米価審議会の前、全国から千数百人の農民がおしよせて要求米価貫徹を期して座り込みをしました。この座り込み共同闘争のために全日農、北海道農民連盟、長野県上伊那米価対策委などの四者共闘がつくられ、倉石忠雄農相への要請などの活動を展開しました。時の佐藤栄作政府は、こともあろうに消費者米価の14.4%値上げを発表しました。

消費者米価値上げに抗議集会

六七年九月八日、伊那市坂下広場で、上伊那地区評、日本農民組合、上伊那と伊那市の連合婦人会および連合青年団、農協労連、農協の婦人部と青年部が共催して「消費者米価値上げ抗議集会」が開かれ、労働者・農民など約六百人が参加しました。各種団体の共闘によるこの抗議集会で、共産党の藤森啓助伊那市議、社会党の溝上正男県議から連帯のあいさつが行われました。

【坂下広場】入舟と中央区を結ぶ大橋の下流側の天竜川の河原を利用した広場、ここサーカスや移動動物園などの興行も行われた。

随想

総選挙結果に思う(2)

長谷 横山 良一 (70)

なぜ、「若者の低投票率・右傾化」という結果になったのだろうか？その一因に、長年の自民党政治の教育政策が功を奏しているように思う。

1947年に制定された教育基本法の前文に、「われらは、さきに、日本国憲法を確定し、民主的で文化的な国家を建設して、世界の平和と人類の福祉に貢献しようとする決意を示した。この理想の実現は、根本において教育の力にまつべきものである。」さらに、「(教育の目的) 第1条 教育は、人格の完成をめざし、平和的な国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値をたつとび、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。」とある。(2006年、安倍内閣は教育基本法を改悪する)

しかし、東西対立が深まるに連れて、占領政策がポツダム宣言の完全実施から日本を「反共の防波堤」へと転換され、1951年9月にサンフランシスコ講和条約・日米安保条約が締結された。そして、教育委員の公選制廃止、学習指導要領、教科書検定、「道徳教育」、「日の丸・君が代」の強制などにより、1947年の教育基本法の前文や第1条を踏みにじり、体制順応型の「期待される人間像」づくりが進んで来た。教育の反動化路線に打ち克つ力強い運動が、全国的に求められていると思う。

催し案内

☆ 飯島光豊後援会新春のつどい

2月4日(日) 午前11時～ 渡場すこやか館
参加費 1000円
連絡先：渡辺 (72-4748) 市川 (73-2928)

☆ 柳川ひろみ後援会新年会

2月4日(日) 午後2時～4時 中央区公民館
会費：1000円
申し込み：柳川 (090-9667-5302)
伊藤 (72-2465)

☆ 第14回伊那夜の街オリエンテーリング

2月28日(水) 午後6時～6時45分受付
伊那市セントラルパーク集合(雨天決行)
参加券 3000円(前売り券のみ)
主催：上伊那民主商工会 後援：伊那市
実行委員会 (72-0550) 有賀 (090-7199-8236)

☆ フクシマを忘れない!

3.11上伊那アクション

3月11日(日) 11時～12時30分
伊那市いなっせ北側広場
Something Yellow(黄色いものを身に付けて)
映画上映会 『わすれないふくしま』
13時30分～15時30分
いなっせ501～503号室
参加費 500円
お問い合わせ 実行委員会 (79-8702・医療生協内)

風物詩 出初式



市民体育館でのセレモニーの後、通り町で市中行進。伊那市消防団、日赤奉仕団・少年消防クラブ隊など約800名と約50台の消防関係車がラッパ隊や消防音楽隊の演奏する中でのパレードは圧巻(1/14 北原)

☆ アベ政治を許さない行動

2月3日(土) 午後1時～
ベルシャイン前・手良中坪交差点
主催：九条の会など

☆ 共謀罪法廃止行動

2月10日(土) 午前7時半～8時
平成大橋たもと 共産党が呼びかけ

☆ 戦争法廃止行動

2月19日(月) 午前7時30分～
竜東橋北交差点・三峰川橋たもと
主催：九条の会など

☆ 「脱原発」いな金行動

毎週金曜日午後6時～6時半
いなっせ北側広場(さよなら原発上伊那の会)